

# 【eCTD 検証ツール Acrobat バージョンチェック解除設定方法】

作成日:2018 年 10 月 19 日

## 1 はじめに（注意事項）

---

本書は、eCTD 検証ツール起動時に実施している Acrobat のバージョンチェックを解除するための設定方法について記載しています。通常の利用時には不要な作業ですので、本書の注意事項を十分にご確認の上、必要な場合のみ 2 の設定方法をお試しく下さい。

eCTD 検証ツールでは、PDF 注釈チェックの動作を保証するため、通常は Acrobat のバージョン（トラックを含む）が PMDA の推奨環境に合致する場合のみ PDF 注釈チェックが実行されるように設定されています。本書に記載する設定方法は、推奨環境とは異なるバージョンの Acrobat がインストールされた PC 環境であっても、強制的に PDF 注釈チェックを実行させるための手順です。なお PMDA では、操作マニュアルに記載した推奨環境でのみ動作検証を行っています。したがって、Acrobat のバージョンチェックを解除した状態で、推奨環境とは異なるバージョンの Acrobat を利用した際の eCTD 検証ツールの動作や PDF 注釈チェックの検証結果については、本来とは異なる実行結果となる可能性があることをご理解いただいた上、利用者の判断にてご利用くださいますようお願いいたします。

また、本書に記載の設定方法では eCTD 検証ツールが使用する設定ファイルの内容を変更する手順がありますが、本書で指示のある箇所以外の内容を誤って変更すると eCTD 検証ツールが正常に動作しなくなる恐れがあります。そのため変更作業を行う場合は、事前に設定ファイルのバックアップを保存するなど、十分に注意して変更を実施してください。

## 2 設定方法

---

1. 設定ファイル（ValidCheck.ini）をメモ帳などのテキストエディタで開きます。

<ValidCheck.ini 格納先>

→ C:\Users\¥(Windows ユーザアカウント)\¥eCTD 検証ツール

2. [ACRO\_VARCheck] の下の「CheckAcro=」の値を「0」から「1」に変更します。

<ValidCheck.ini 変更箇所（抜粋）>

```
[ACRO_VARCheck]
CheckAcro=1 ※
```

※CheckAcro の値が「1」ならば、バージョンチェック処理を行いません

CheckAcro の値が「0」ならば、バージョンチェック処理を行います